

いわき民報

社報民きわい
第一八三三號 昭和二十二年五月二十二日
已克輝千人刷印
除本日外日毎月刊
四月十三日 一月六日 一月一日

推進隊や吸収班も結成

大掛りな郡の救國貯蓄運動
十六日から強調旬間を実施

渡邊日農 役員會を

選挙対策協議
日農渡邊支部では七日午前十時から渡邊國民會を招集、種々對策をねつた、十六日から十日學校で役員會を開催、間を強調旬間と特に定めて、貯蓄推進隊を結成して貯蓄宣傳および貯蓄吸収に挺身することとした、貯蓄宣傳班は各町村毎に學童を動員して實施し、さらに數ヶ町村連合、トラツクを動員して街頭宣傳も行い、貯蓄吸収班は郡内の金融機關として結成、會社、工場等にも戸別訪問を行い、勧誘につとめる。

增加所得委員 平管内十四氏任命

增加所得税の調査委員、務局長から四日任命され、財税課長、うち平内務課長は二十八日附で、關係は左の十四氏に決定した。

片倉製糸増釜 現在の倍能率へと

蠶糸石城の復興を以ては現在の百四釜を先ず、新釜五ヶ年計劃に呼應、終戦後逸早く、縣下最初の復元工場として昨年来業を開始した片倉製糸警械工場

米 完遂座談會

技術員會兼ね湯本に
郡の供米は二月十日見市公會堂日本間に演三事完遂お米どころ、い郡内の町村統計事務主

制度改革 意見聴取

警防團の制度も社會狀勢から見て改革されることになつたので平署に書状をもつて意見を

人口調査 集合審査

縣主催の統計事務審査では四日管内警防團長聴いた、七日までとり

いるが如く痛い腹な期待をかけられてい
をさぐる不快さを
一掃するため四日から
縣長及び助役の證明で
は發賣出來ぬこととし
己むない旅行者のみ
會社庶務部の證明で發
賣せしめることに改め
た

右足骨折 死亡

平驛給水夫が
神谷村大字上神谷平驛
給水夫西山威さん(三〇)
は三日夜平驛關區内で
列車連結中右大たい骨
を折り間もなく死亡
つた

いわざ言

●小名濱臨鏡けうから
縣長助役の證明では切
符を受らないことにな
つた
●今後は一切會社庶務
部の證明のない限りは
行列買いをする外に手
はないわけ
●表面の理由は制限の
釜増設とあるが、驛員が
を増し一躍倍の二百釜
に増設することに決定
しない腹をさぐるの痛
工員や糸姫の増釜を始
め諸施設を急いでいる
●つまらない邪推が自
が、今秋蠶繭までには
この二百釜を全部運轉
の運びである、そのあ
かつきには演三郡下の
産繭はもろん田村郡に
下の大部分の處理もら
くになされるので大き

募集 警械文化學園

一、出願期日 三月十五日まで
一、洋裁を主とし警械文化協會の文藝、教
養、趣味講座を併設す
(平市田町七四電話三三八番)

募集人員

本(科)一ヶ年修了) 六〇名
専修科(四ヶ月修了) 六〇名
本科高女卒程度の學力ある
一、應募資格 専修科學歷を問はず一般希
望者

社告

今回退社した高野吉男君は米倉勉君の經營する「油業名かん」と全然關係ありません、誤解されてゐる向もありませんから念のためお知らせします

いわき民報社

本家庭

流感百日せきも

届出制度之

防疫措置強化のため今イの二種に限られてい... 届出制度之

江名へ新設

沿岸漁業用として 本省より指定さる

沿岸漁業の振興を期すると... 江名へ新設

配給

引揚者警備連盟、共榮は六百町歩のジャガイ... 配給

委員長大野氏

結髪部 獨立

七、八兩日に 研究會を開催

ニセ部員御注意

要救護者を喰う悪質

管理米の二重賣り、三... 要救護者を喰う悪質

未續進工

花の四月に竣工か 総工費は五十萬圓

卒業式

市内中等校 日制定定さる

カスミ網

狩獵法に對する連合軍

狩獵法の改正

断然高買入 價即金 福屋

洋服とモノキ 花嫁衣裳若向衣類高級品トビキ

引揚者を利用して 木炭の横流し

要救護者を喰う悪質